

# 「困ったときは、聖徳園！」を目指して

施設名 ひらかた聖徳園

## ① 活動実施の背景・実施に至った理由・思い

日本は大きな大きな問題を抱えています。

人口減少、少子超々高齢社会を迎え、家族構成や地域関係が多様に変化するに伴って、老々介護や認知症患者の増加、ひいては社会保障費の増加、経済的困窮者の増加と、挙げれば枚挙にいとまがありません。当初は「2025年問題」といっていましたが、その年が近づくにつれて「2042年問題」と次なる問題が出現し、当然、規模は違えど都道府県から市区町村へと波及してきます。

これらを踏まえ、ひらかた聖徳園では、「地域に住む一人ひとりが役割をもち、支え合い、生き生きと暮らせるまちづくりの推進」を図るべく、2017年9月に「地域連携課」を立ち上げました。

これまで培った知識や経験、ノウハウが、ひとつでも地域・地域の皆さまにプラスになれば…常に頭をひねる毎日です。

## ② 取り組みの内容

### ★こもれび体操教室の開催（2006年～）

年間約200回開催、延べ約1,300人利用

### ★こもれびカフェの開催（2017年12月～）

認知症カフェ。毎月第3金曜日開催

### ★地域へ出前講座の開催（随時）

「介護保険の使い方」「施設の違い」など

### ★校区コミュニティ活動への参画（毎月1回）

### ★校区元気づくり会議への参画（毎月1回）

地域課題の抽出や検討を行う

### ★校区福祉委員会と連携（随時）

### ★民生委員児童委員と連携（随時）

## ③ 活動の効果・課題

地域には、さまざまな悩み・思いを持つ方がいます。一方で、それを代弁したり、引き出したりする「地域の力」は、高齢化や家族・地域関係の変化で弱まっている傾向にあります。

社会福祉法人を含め、関係している機関が一丸となって連携強化に努め、年齢や世代を超えた地域のつながりを深めるとともに、一層の顔の見える関係づくりを「継続していくこと」が必要です。

## ④ 今後の展開・夢

本来の業務について、意識や専門性を高め、常にサービスの質を向上させていきます。

その上で、施設主体から地域主体での「活動の場」づくりと、地域から人が入り、多様な機関が連携した施設での取り組みを通して、また地域へと戻り、その地域を活性化していくような、「人の環」づくりをすすめていきます。

地域のあらゆる主体が担い手となり、いくつになっても「生きがい」や「居場所」「役割」のあるまち（地域）

住み慣れた地域で、いつまでも健康で、安心して、自分らしく暮らし続けられるまち（地域）  
そんな「まち（地域）づくり」に貢献していきたいと考えています。